

—生野コリアタウン—

11113YYY

駒田涼

第3章 韓流の風にのって

—生野コリアタウン—

□「商店街」と聞くと、シャッターが多く、全体的に廃れているイメージが強い。しかし、そんな中でむしろ活気づいている商店街がある。

□ 大阪府の生野区にある、日本と韓国の共生をテーマにした「コリアタウン」である。

- I. 御幸通商店街
- II. 御幸通中央商店会
- III. 御幸通東商店街

✓ その理由を調査する。

第2節 コリアタウンの歴史

□ 大昔から韓国との交流があった。

- 百済の王仁博士が仁徳天皇の即位を記念して詠んだ歌碑。
- 百済から来た渡来人が多く住んでいたため、「百済野」と呼ばれた。
- 朝鮮通信使がこの地に訪れた証拠、ハングルによる『難波津の歌』

□ 1910年の韓国併合を機に、多くの朝鮮人が日本に移住。

戦争が終わっても帰国できずにそのまま日本に残って生活をしている人が店を構える。

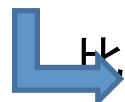
✓ 終戦までの約35年間である程度の生活基盤ができ、戦時中に違う地で暮らしていた韓国人がこの地を目指し、やって来た

店舗の歴史から見る人の移り変わり

- 昔からこの地に店を構えている藤井米穀店さんにインタビュー。
 - 現在では新たに商店街にお店を出す人々が増えている。
 - 韓流ブームにあやかり、韓流の人気グループのグッズなどを扱う
 - 貸地のためか、入れ替わりも激しい。
- 彼らは商売目的だけでなく、国と国との交流も大事にしており、青年会へもいくつかの案を出している。
- 後継者問題で新たな日本人の経営者は増えず、土地が空いてしまうので、ニューカマーの人が増える。
- 新しい人々が増えることはこの商店街の繁栄には良いようだが、連携をとることが難しい。→ **日本人の駆逐！**

「共生」ということ

- 御幸通商店街には4つの門がある。1993年に韓国式のこの楼門が建てられ、同時に道の舗装工事が行われた。
- 西商店街だけは門の制作、同時に道の舗装に参加せず。
- 門やきれいな歩道がわかりやすい目印となり、西商店街をコリアタウンとして範囲に入れない、という事態に。

 比較的、他の商店街よりも西商店街には日本人が多く、この門の有無が国籍を分けてしまう事態へ。

- 1993年、御幸通商店街の名称を「コリアタウン」とした。
- ✓ この商店街が掲げている「共生」を、商店街以外の近隣の住民に受け入れてもらうことも課題。

過去からの反省点と課題

□ 『紅白歌合戦(NHK)』にも韓国のグループが出場。

□ 2002年の日韓ワールドカップの開催。

└ 社会的現象の後押しがあって、現在のコリアタウンの賑わいがある。

□ 韓流ブームが定着したとしてもこれ以上高まることはない。



商店街を韓流ブームだけに頼らず、また新たな案を自らが題して良くしていこう、という考え。

EX: 約20年間続く「共生まつり」

- ・日本デビューを目指すグループ。
- ・近隣の小学生が韓国舞踊や演奏。

✓ 「市場感覚」が抜けておらず、朝の開店が早く、夜の閉店が早いので、夕方から来た観光客は楽しめない。特別感のある露店は少ない。

- 当初は近所の人のための商店街であったが、近年になってその対象が観光客など、外に向けられていることがわかる。
- 神戸市にある中華街のように、初めから観光客を対象とし作られた商店街ではない。
- コリアタウンがほかの商店街よりもにぎわっている理由として、韓国と日本の「共生」を基盤とし、変わりやすい時代に対する適応能力が備わっている。
- ✓ コリアタウンの人へのインタビューを通して歴史、現在、特徴、取り組み、問題点、改善すべきこと、発展の理由などが細かく考察されている。

第3節 商店街の変化と現在

商店街の利用者と現状について

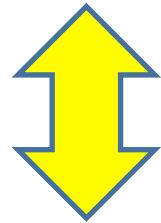
□ 『生野コリアタウン共生まつり』176名の来訪者を対象にしてアンケート調査を行った。

性別			
男 29人	女 136人	無回答 12人	
結婚			
未 37人	既 86人	無回答 44人	
年齢			
10代 22人	20代 20人	30代 39人	40代 38人
50代 20人	60代 21人	70代 12人	無回答 22人
住まい			
生野区43人	大阪市 51人	大阪府 30人	他府県 29人
無回答 22人			
共生祭りに来た目的			
パレード 47人	ステージ 66人	だんじり 11人	屋台 68人
普段の買い物 58人	その他 14人	無回答 5人	
来訪			
はじめて 38人	月1,2回 49人	週1,2回 11人	ほぼ毎日 15人
年に数回 56人	無回答 2人		
商店街来訪の目的			
仕入れのため 5人	日常 99人	観光 38人	友人 27人
その他 19人	無回答 12人		

□ 利用者は女性が圧倒的に多い。

既婚者が多い、年齢も30代・40代が多い、「目的」では普段の買い物が58人、「来訪の目的」も「日常」が99人 と主婦層であると分かる。

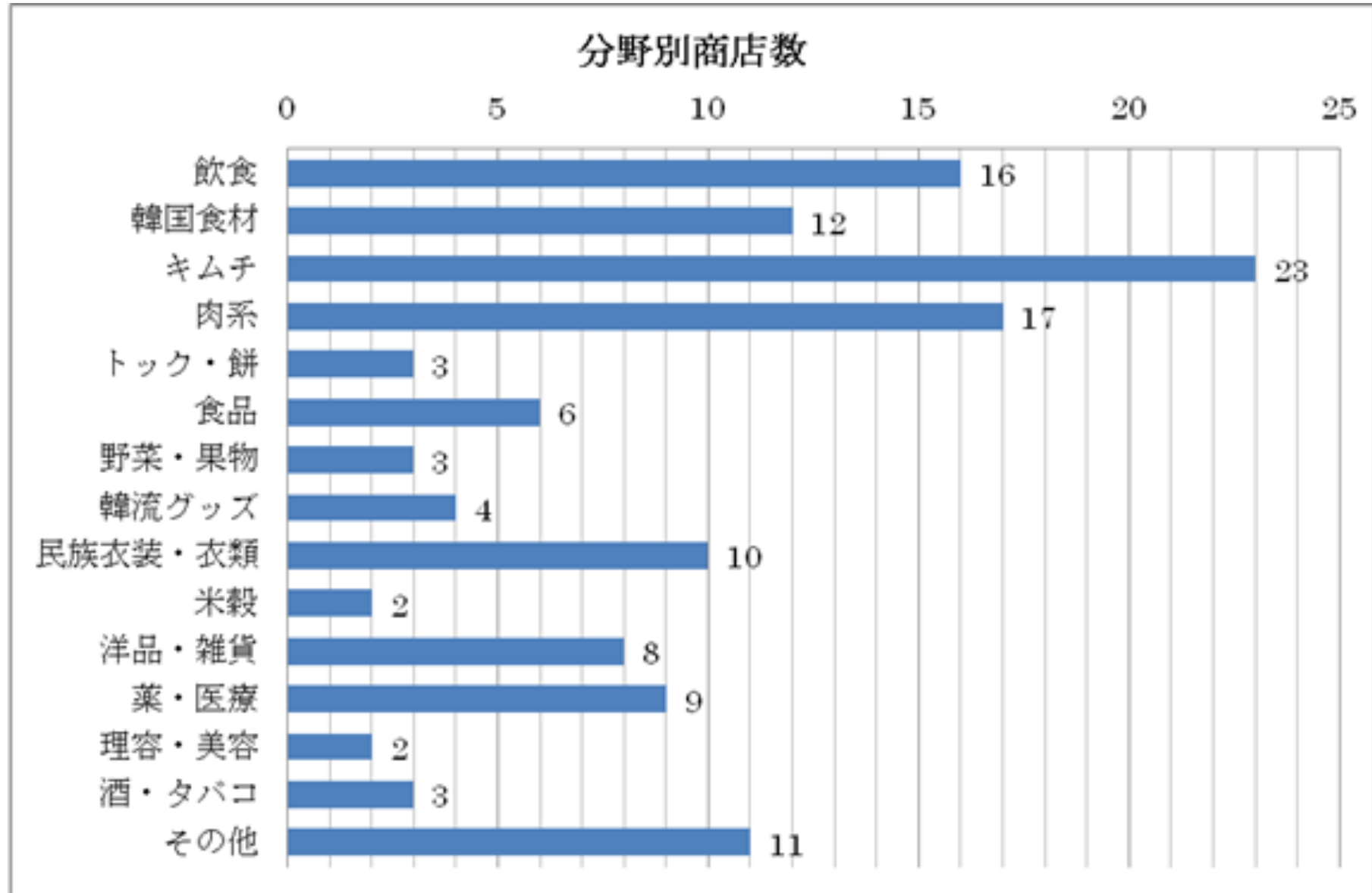
✓ 現在でも、生野コリアタウンはの地域と密着した商店街として存在。



「住まい」の質問の回答で東京や関西圏外などからやってきた人もいる。「目的」では屋台、ステージ、パレードの韓国文化に関係するものを目的として来訪している人が合計181人もいることから

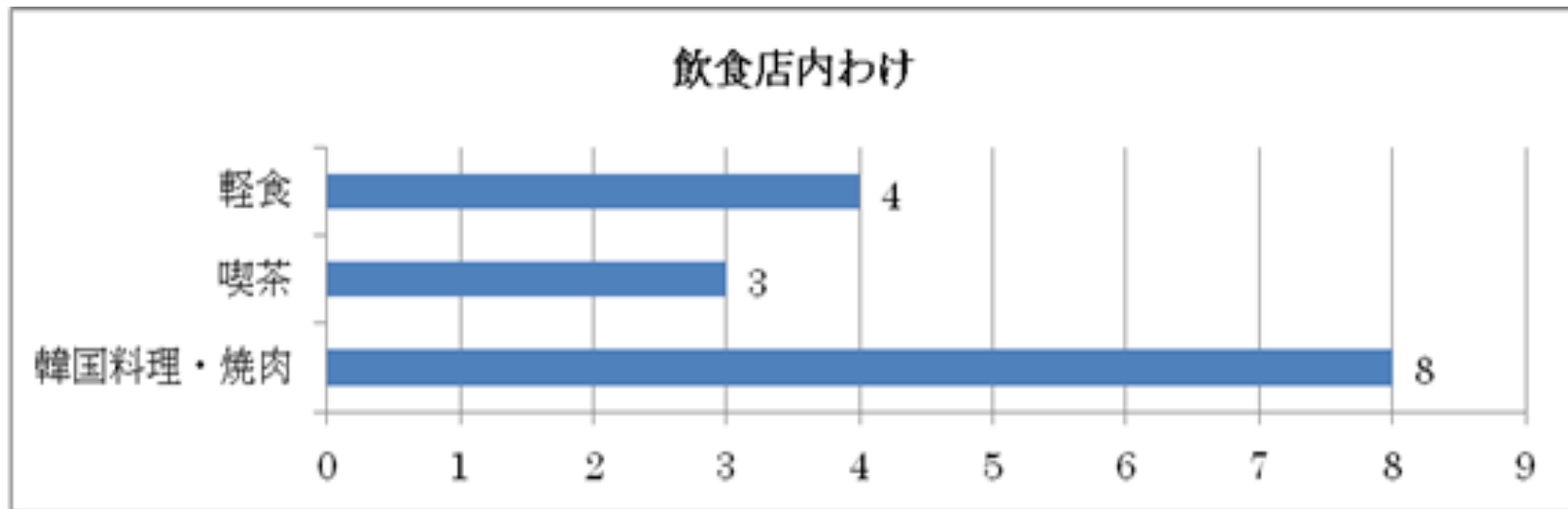
✓ 地域に密着した商店街としてだけでなく、観光地としての顔もしっかり持ち合わせていることがわかる。

現在の商店街の店舗数と営業分野について



□ 店舗数が多い分野はキムチ店、肉系の店舗、飲食店がTOP3。

普段から商店街を利用している地域の方たち（特に在日韓国・朝鮮人の方）が、韓国料理を作るために必要な食材や、行事で使ったりするような生活用品をそろえる。



□ 商店街にやってくる人の7～8割の人が「食」を求めてやってきくるので、韓国料理・または焼肉の店が多くあるのは当然の結果になっている。

- 店舗を経営する方が日本人が減り、韓国・朝鮮籍の人が増えてきている。
 - 経営者だけでなく各商店会の役員に在日の方が多く就いていることもふまえて、今後生野コリアタウンが日本色の無い街に変わる恐れもある。
 - 同時により韓国文化を感じることが出来る場所になっていくのではないかという期待も生まれる。
-
- ✓ アンケート結果を表にまとめてあり、それを用いることによってしっかりとした根拠を持ってコリアンタウンの現状を捉えることができる。説得力があり、分かりやすい。

第4節 商店会長へのインタビュー調査

- 「コウアタウン」を形成する西商店街、中央商店街、東商店街。それぞれの商店会長、そして生野コリアタウン全体の理事長に直に訪ねてインタビューを行う。
- 東商店会長は全体の理事長も兼任。
- 3名の方に合計9回現地に足を運んでインタビュー。
- ✓ 活気を保っている生野コリアタウンの繁盛の要因や工夫について、御三方の話を元に考察する。

□ 西原さんのお話

- まずは西商店会長の西原さんにお話を伺った。西原さんは現在西商店街にお店を構え、食品の卸売と店頭でのチヂミやホットックなどの販売をしている方だ。お話によるとお店は今から45年前、現在の場所で繊維関係の会社の経営をはじめ、20年前に現在の業態になったそうだ。15年前にインターネットを用いた食品の販売もはじめた。商店街については、西商店街では年に3回ほど集会を行い、主に秋に生野コリアタウンで行う「共生まつり」についての話し合いを行うそうだ。経営については特に話し合いはなく、お店個々にまかせる形をとっている。西商店街、そして他の2つの商店街とも目立ったトラブルはなく、関係は良好だともおっしゃっていた。西商店街は「コリアタウン」としての商店街になった歴史も浅く、店舗数も他の2つの商店街より少ないため、中央商店街と東商店街を目標としているそうだ。いわゆる「韓流ブーム」については100%追い風で、3、4年前にお客さんが急激に増加したという。今後も努力を重ね、お客さんのニーズに応えていきたいとおっしゃっていた。

□ 籠本さんのお話

➤ ~~~~~。

□ 井上さんのお話

➤ ~~~~~。

- ✓ インタビューは口語で会話形式にまとめているのではなく、自分の言葉でまとめている。最後に自分の結論をまとめる時に、ある程度は綺麗にまとめることがしやすいと思う。ただし見にくさは感じる。